

都市再生プロジェクト

「防犯対策等とまちづくりの連携協働による 都市の安全・安心の再構築」

防犯、防災、福祉、産業、教育、文化、交流等の活動ネットワークがまちづくりの中で連携協働することにより、体感治安の回復等、都市の安全・安心を再構築するための取組を強力に推進する。

1 大都市等の魅力ある繁華街の再生

大都市等の繁華街が「安心して」「楽しめる」街であることを目指し、悪質な客引き、無秩序な広告や駐車などを含む迷惑・違法行為を排除、未然防止する防犯治安対策の取組と、街の新たな魅力づくりを含むまちづくりの取組を両輪とし、双方向緊密な連携協働等を推進する。

- (1) 迷惑・違法行為を放置して一般来街者を遠ざけることは、これら行為の更なる横行を許し、犯罪の温床を生むなど悪循環・暗黒化の危険をはらむ一方、街の魅力づくりが適正な用途のテナント入居の促進や波及等の好循環をもたらすなど、健全な賑わいや人の流れを増すことが、繁華街再生の構造的対策に資する。

このことを強く意識し、民と官が一体となり、防犯治安対策のみに特化せず、以下のような取組を密接に関連付け相乗効果を発揮しながら推進する体制を各地で構築し、効果的な犯罪取締り強化と併せ、地域一丸となった取組に着手する。

客引き、広告、駐車等に係る迷惑・違法行為の排除、未然防止の徹底及び死角の除去、街の美化、外国人観光客を含む来街者への地域安全情報の提供

地域特有の資源や文化を活かし、それぞれの特性に応じた街の新たな魅力づくりと情報発信、都市再生事業等による新たな賑わいと人の流れの巻き起こし、まちづくりのビジョンと調和したテナントや商業・文化施設の整備等の誘導

(2) 新宿歌舞伎町（東京）における先駆的な取組を踏まえ、薄野（札幌）、池袋、渋谷、六本木（東京）、関内・関外（横浜）、栄周辺（名古屋）、木屋町周辺（京都）、ミナミ（大阪）、流川・薬研堀（広島）、中洲（福岡）等において、地域の実情に応じたモデル的取組の展開を図る。

(3) 防災、福祉、産業、教育、文化、交流等の活動との連携、隣接地域との横の連携、廃校、空きビル等既存ストック活用の推進等を、できる限り組み込む。

2 全国の多様な主体の連携によるトータルな安全・安心まちづくり

まちづくりに関わる多様な主体が、防犯等地域の安全・安心に係る情報を共有し、相互に補完する活動を行うなど、連携を強め、民の力を結集するための共通基盤を構築する。

- (1) 以下のような連携基盤の整備により、通学路周辺、住宅地、商店街等の地域特性に応じ、とりわけ子ども・弱者の安全・安心な環境の確保を図る。

ITの活用、地図化等による随時監視や即時の危険情報の公開・共有化とこれらを活用した死角除去

防犯、放火防止、子どもの見守り等、地域の安全・安心を目指す幅広い活動の拠点形成

- (2) 住宅の防犯性能の評価システムの開発・普及、ロボット等新技術の活用、プライバシーに配慮した情報取扱い等、安全・安心の確保に係る新たな仕組の構築や実験的手法を展開するとともに、新たな市場と民間の事業化を誘導育成する。